

令和5年度講座編成に係る基本的な考え方

○ メインテーマ

地域での助け合いが広がる社会づくりを目指して

【本メインテーマについて】

今、地域コミュニティの必要性・重要性が改めて認識されています。地域には様々な課題があり、様々な団体（町内会、自治会、NPO等）による活動が展開されています。

地域で生じる多様な課題は、住民同士が主体的につながり、解決することが求められています。

そこで、住民のつながり方としては、ミッションを持って課題の解決に取り組むNPO、ボランティア団体等による活動と、住民どうしの助け合いによる地縁の活動などが、重層的につながる「面」となって、互いに力を出し合いながら、協働のまちづくりを進めていくことが期待されています。

かながわコミュニティカレッジは、「点」としての活動とあわせて、「面」としての活動を広げるために、地域コミュニティの活性化につながる活動の担い手の育成を目指します。

○ 必ず実施すべき講座

次の①～⑦の分野において、特定の分野に偏りがないように提案すること。その際、可能な範囲で「入門（基礎、初級）講座」と「専門（実践、上級）講座」を組み合わせるといった工夫をすること。また、県民ニーズを的確に把握した講座編成とし、必要に応じて同一講座の複数回開催などの工夫をすること。

①地域のつながり・支え合い ②災害救援・減災・防災 ③団体運営・ICT活用
④保健・医療・福祉 ⑤子どもの健全育成 ⑥人権 ⑦環境・SDGs ⑧その他

注1) 分野②「災害救援・減災・防災」については、災害ボランティア活動を新たに始めたい人のきっかけとして基本的な活動内容や活動にあたっての留意事項等を学べる「入門講座」と、ボランティアコーディネーターを養成することを目的とする「専門講座」を必ず提案に加えること。

注2) 分野③「団体運営・ICT活用」の例：「ICTを活用して地域を活性化する講座」など

注3) 7つの分野に当てはまらないテーマについては、その他で提案すること。分野⑧「その他」の例：「多文化共生について考える講座」など

○ 可能な範囲で考慮すべき事項

- ア ワークショップや活動現場を体験できる現地実習、社会調査の活用など実践的なカリキュラムを可能な範囲で盛り込むこと。
- イ 提案する講座が全体テーマの趣旨に沿う内容となるよう、「多世代」「地域での助け合い」「地域活動への参加」などの要素を可能な範囲で盛り込むこと。なお、「多様な背景を持った人が生きやすい社会を目指す」視点についても十分考慮すること。
- ウ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「新しい生活様式」が求められる状況下での団体、法人等のニーズを踏まえた講座を可能な範囲で盛り込むこと。